

## NARITA BOYS CUP 2020 大会特別規則

1. ベンチ入り人員は、登録された代表者（私服）、監督（背番号 30）各 1 名、コーチ（同 28・29）2 名、スコアラー（私服）1 名、及び女性介護員（私服）1 名の 6 名以内、主将（同 10）。主将以外の選手（同 0~27）の 9 名以上 20 名以内とする。
2. 同一チームのユニフォーム、アンダーシャツ、帽子、ストッキング、スパイク同色（金属製スパイクの着用は禁止）は全員統一されたものでなければならない。
3. ヘルメットは打者、次打者、ベースコーチ、走者、ボールボーイ（シートノック時）共に両側にイヤラップのついたものを必ず着用すること。金属バットについては JSBB のマークの付いた公認のものに限る。
4. 捕手は、ヘルメット、レガース、プロテクター、マスク（ストローガード付・一体型を含む）ファールカップ（女子選手は除く）を着用すること。
5. 投手の守備を除く選手（打者・守備）の手袋及びリストバンドの使用は認める。
6. シートノックは 5 分以内とする。
7. 試合は 7 回で勝敗を争う。尚 1 時間 30 分に達したら新たな回には入らず、その時点の得点をもって勝敗を決する。（決勝戦も同様）同点の場合は直ちに『特別延長戦』を行う。また、同一投手の投球回数は 1 試合 4 イニング（特別延長戦も含めて 12 アウト）とする。1 日 2 試合ある場合は、1 日の合計 21 アウトとする。  
なお、4 年生以下の投手の投球回数は 3 イニング（特別延長戦も含めて 9 アウト）とする。
8. 『特別延長戦』は一死満塁から行う。打者は前回の継続打者、走者は前回の最終打者を 1 塁走者とし、2 塁、3 塁の走者は順次の打者とする。なお、勝敗が決しない場合は更にこれを繰り返す。
9. 『特別延長戦』は最高 2 回までとし、勝敗が決しない場合は抽選で勝敗を決定する。
10. 『特別延長戦』出場選手の交代は許される。
11. コールドゲームは 4 回均等回終了以降得点差が 7 点以上となった時に適用する。
12. 日没・降雨コールドゲームの適用は、4 回均等回終了後適用する。4 回均等終了前については、特別継続試合（サスペンデッド）とし、後日の第 1 試合に行う（ただし、4 回表が終了した時点で後攻チームがリード場合は 4 回均等回終了とみなしコールドゲームを適用する）。日没・降雨の判断は、当該球場責任者・責任審判が両チームの監督を招集し協議して決定する。
13. コーテシーランナー（臨時代走）認める。
14. ベンチは、組み合わせ番号の若番が 1 塁側で。先行・後攻はトスとする。
15. 監督が投手の所へ行く回数の制限は、公認野球規則を採用する。なお、監督が投手

のもとへ行く場合にマウンドまでの往復は駆け足を励行する。

16. メンバー表の提出は、大会本部へ試合開始前 40 分前に監督・主将が 3 部（放送する場合は 4 部）持参しトスと球場等の諸注意を確認する。
17. メンバー表の氏名欄へは、当該メンバーの学年を記入すること。
18. 理由なく試合時間（15 分猶予）までに会場本部へ到着していない時は、試合を放棄した物とする。
19. 大会規則は『大会特別規則』を除く他は『2020 年度公認野球規則』を適用して実施する。
20. タイムの回数は守備、攻撃共に 3 回以内、『特別延長戦』は 1 イニングに 1 回とする。
21. 試合球は、全日本軟式野球公認『ナガセケンコウボール J 号球』を使用する。

（公財）日本少年野球連盟 千葉県支部  
成田ボーイズ 代表 小川 昭雄

## 各試合会場諸注意

○北羽鳥多目的広場

- ・（路上駐車厳禁）

○八生スポーツ広場

- ・ 3 塁側の農道への路上駐車は厳禁です。（農作業者に迷惑が掛かります）
- ・ 敷地内の水は、飲めませんのでご注意ください。

○豊住スポーツ広場

- ・（路上駐車厳禁）

※駐車スペースに限りがあります。車の乗り合いにご協力願います。

## 第2回 成田ボーイズカップ 少年野球大会開催に伴う 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

(公財)日本少年野球連盟 千葉県支部 成田ボーイズは全日本野球協会アマチュア野球規則委員会が通知した『新型コロナウイルス感染予防のためのガイドライン』の他、下記の事項を定める。

### 1. 大会運営上の留意事項

- (1) 開会式は実施しない。
- (2) 閉会式は優勝、準優勝チームのみで実施する。
- (3) 大会に参加する選手は、保護者の承諾を得た者でなければならない。
- (4) チーム指導者、審判員、保護者等は検温を実施し、体調に異変がない者でなければ大会施設等へ入場してはならない。
- (5) 大会期間中、出場チームは日々当該チームに帯同するすべての選手及び指導者、審判員、保護者等の出席者名簿を作成し、各人の健康状態を把握しなければならない。なお、その名簿は球場責任者に提示し、記載内容等の確認を受けること。
- (6) 名簿は出場チームの責任において各自1か月間保存し、関係機関から要請があった場合は開示しなければならない。
- (7) グラウンド、観覧席等の施設へ入場する者のマスク着用を義務付ける。  
また、グラウンドに用意する消毒液で手指消毒に努める。
- (8) グラウンドへの入場及び退場の挨拶は無言とする。
- (9) 各チームの試合会場入りは開始予定時刻の1時間前からとする。
- (10) 対戦を終えたチームは速やかに施設から離れなければならない。
- (11) ゴミは各自持ち帰ることとする。
- (12) 大会期間中、選手、大会関係者及び同居人等が新型コロナウイルスに感染した又は感染が疑われる場合は、大会の延期又は中止を検討する。
- (13) 大会開催(参加)が原因で新型コロナウイルスに感染した又は感染したことが疑われる場合であっても、主催側は一切その責任を負わない。
- (14) 感染防止を理由に出場を辞退するチーム又は個人に対して主催側は罰則を求めない。

## 2. 試合運営上の留意事項

- (1) 対戦関係者間の握手を禁止する。
- (2) メンバー表の交換時に立ち会う審判員、監督、主将はマスクを着用しなければならない。
- (3) グランド整備に対するお礼は省略する。
- (4) 試合開始前後、本塁を挟んだ対戦チーム間の挨拶は行わず、ベンチ前で無言で行うこととする。
- (5) 放送を用いる場合は、必要最小限の人数で対応し、使用後は各自消毒を行う。
- (6) ベンチ入りする大人はマスクを着用しなければならない。
- (7) 出場選手及び審判員のマスク着用は否定しない。
- (8) 介護員はベンチ入りせず、周辺で常に待機し、必要に応じてその役割に努める。
- (9) 歌を用いた応援、ベンチ前での声出し等を禁止する。
- (10) 試合後のエール交換は省略する。
- (11) 出場チームは各チームの責任において常に消毒液を携帯し、試合後は次の対応に努める。
  - ①.共有する用具等の消毒
  - ②.試合後のベンチ椅子、机等の消毒
  - ③.その他必要と判断される随時の消毒
- (12) 試合中の審判員のマスク着用は、審判員自らの判断とする。
- (13) 審判員への給水は主催側がペットボトル飲料のみ用意する。  
飲んだペットボトルは審判員個人が持ち帰ること。

## 3. その他

本書記載事項は、必要に応じて随時見直す。